

(第一類 第一號)

第五回 國會 内閣委員会議録 第二十一號

(五〇一)

昭和二十四年五月十九日(木曜日)

午前十一時二十分開議

出席委員 齋藤 隆夫君

委員長 齋藤 隆夫君

理事青木 正君 理事池田正之輔君

理事小川原政信君 理事尾関 義一君

理事吉田吉太郎君 理事有田 喜一君

理事木村 榮君 理事鈴木 幹雄君

理事小林 信一君 理事鈴木 幹雄君

江花 静君 佐藤 榮作君

丹羽 鮎吉君 柳澤 義男君

岡田 春夫君 成田 知巳君

出席國務大臣 勝間田清一君

床次 徳二君 士橋 一吉君

大藏大臣 池田 勇人君

國務大臣 本多 市郎君

出席政府委員 (大臣官房次長) 大藏事務官 山口臺久一郎君

委員外の出席者 専門員 鶴川 浩君

専門員 小関 紹夫君

五月十九日 委員坂本泰良君、有田喜一君及び北

村徳太郎君辞任につき、その補欠と

して勝間田清一君、小野幸君及び床

次徳二君が議長の指名で委員に選任

された。

五月十八日

道路運送監理事務所存続の請願外三

件(木村俊夫君外一名紹介)(第一六七五号)

各省設置法及び定員法制定反対の請

願(木村榮君外一名紹介)(第一六八四号) 恩給法の臨時特例改正に関する請願 (小川原政信君紹介)(第一六九四号) 各省設置法及び定員法制定反対の請願(木村榮君外一名紹介)(第一七〇一号) 同(吉田吉太郎君紹介)(第一六九五号) 各省設置法及び定員法制定反対の請願(木村榮君外一名紹介)(第一七〇一号) 同外十九件(竹村奈良一君紹介)(第一七〇二号) 府縣衛生部存置の請願(塩田賀四郎君紹介)(第一七一〇号) 三重縣に陸運局支局設置の請願(中島村清君紹介)(第一七一六号) 岐阜縣に陸運局支局設置の請願(大野伴陸君紹介)(第一七一七号) 福井縣に陸運局支局設置の請願(福田一君紹介)(第一七一八号) 埼玉縣に陸運局支局設置の請願外一件(山口六郎次君紹介)(第一七一九号) 運輸省設置法案一部修正に関する請願(庄司一郎君紹介)(第一七二〇号) 運輸省設置法案一部修正に関する請願(大上司君紹介)(第一七二二号) 運輸省山崎荷扱所存置の請願(大上司君紹介)(第一七三〇号) 道路運送監理事務所存続の請願(戸叶里子君紹介)(第一七七八号)

号) 運輸局現業職場に対する行政整理に関する請願(深澤義守君外一名紹介)(第一七四四号) 恩給法の臨時特例改正に関する請願(第一七七九号)

(佐々木盛雄君紹介)(第一七五六号) 水産資材行政の元化に関する請願(田口長治郎君紹介)(第一七五八号) 各省設置法及び定員法制定反対の請願(八木一郎君紹介)(第一七六一号) 同外九件(佐々木更三君紹介)(第一七六二号) 福岡通信局設置に関する請願(中島茂臺君紹介)(第一七六三号) 厚生省衛生三局縮小及び地方廳衛生部廃止反対の請願(圓谷光衛君紹介)(第一七六四号) 気象觀測事業縮小反対の請願(北澤直吉君紹介)(第一七七〇号) 阿久根觀測所存置の請願(石原登君紹介)(第一七七一号) 同外二件(尾崎末吉君紹介)(第一七七二号) 雲仙岳測候所存置の請願(若松虎雄君紹介)(第一七七三号) 運輸省札幌地方施設部存置の請願(岡田春夫君紹介)(第一七七五号) 運輸省札幌地方施設部存置の請願(阿久根觀測所存置の請願(尾崎末吉君紹介)(第一七七六号) 同(吉田省三君紹介)(第一八三二号) 名古屋工機部伊那松島電車修理工場存置の請願(今村忠助君紹介)(第一八三三号) 行政機関職員定員法案上程反対に関する請願(岡田春夫君外一名紹介)(第一七七七号) 道路運送監理事務所存続の請願(戸

田代文久君外一名紹介)(第一七八八号) の審査を本委員会に付託された。 本日の会議に付した事件 賠償廳臨時設置法の一部を改正する法律案(内閣提出第八一号)

行政機関職員定員法案(内閣提出第一九六号) ○齋藤委員長 これより会議を開きます。 本日は賠償廳臨時設置法の一部を改正する法律案を議題にいたしますが、本案に対する質疑は終了しております。 小川原政信君。 ○小川原委員 賠償廳臨時設置法の一部を改正する法律案の一部を次のようから、これよりただちに討論に入ります。 小川原政信君。 ○小川原委員 賠償廳臨時設置法の一九條とし、第八條として次の一條を加える。 第九條を第十條とし、第八條を第十二條とし、第八條として次の一條を加える。 第八條 賠償廳長官は、その所掌事務で連絡調整事務局が分掌するものについて、連絡調整事務局の長を指揮監督する。 第九條 賠償廳長官は、第一條第七号に規定する事務で財務部及び税務署が分掌するものについて、財務部長及び税務署長を指揮監督する。 以上を修正いたしまして、本案に費成するものであります。 ○齋藤委員長 成田知巳君。 ○成田委員 日本社会党を代表いたしましたと同様でありまして、二十四年度の予算と定員法と各省設置法というものは三位一体であつて不可分関係である。 予算につきましては社会党は反

対の態度をとりましたし、現在審議されております定員法につきましても、今までの審議過程から行きましたならば、反対の態度をとらざるを得ないのです。

でありますして、社会党としては反対の意をおきました。こういう意味におきまして、社会党としては反対の意を表します。

○齋藤委員長 有田喜一君。

○有田(喜)委員 私は民主党を代表いたしまして、本修正案並びにそれを除いた原案に賛成をいたします。但し賠償関係は、今回相当大きな変更が加えられました。つきましてはすみやかに政府は賠償廳の機構に、これに伴う改变をなす必要があると考えます。その事態が明確になつたときをつかんで、政府は善処されることを希望して本案に賛成します。

○齋藤委員長 木村栄君。

○木村(榮)委員 私は日本共産党を代表して、賠償廳臨時設置法の一部を改正する法律案並びに民主自由党的修正案にも反対をいたします。

反対の理由は、各省設置法案の場合に申し述べた点と大体大差ありませんが、特に賠償廳の場合は外務省にも関連し、大蔵省にも関連する。そういうものが出てきたときに大蔵省に問題が多いため、これを検討してみますと、きわめて矛盾が多い。このようなことはこの賠償廳を通して日本のある特定のものが出るという機会を與える危険性が多い。また國家行政組織法の上から言つても、この中には相当大きな法律上の疑義の点がたくさんある。こ

ういった観点から、この賠償廳臨時設置法の一部を改正する法律案には反対の意を表明する次第です。

○齋藤委員長 小林信一君。

○小林(信)委員 新政治協議会は本案

並びに修正案に対し反対であります。反対の理由は省略いたします。

○齋藤委員長 鈴木幹雄君。

○鈴木(幹)委員 民主党を代表いたしまして、本案並びに修正案に賛成をい

申し添えていることを御留意願いたいと思います。

○齋藤委員長 これで討論は終結いたしました。

○齋藤委員長 これより採決に入ります。まず本修正案に賛成の方の御起立を願います。

〔賛成者起立〕

次に本修正部分を除いた原案に賛成の方の御起立を願います。

〔賛成者起立〕

○齋藤委員長 起立多数。よつて本案はただいまの修正案通りに修正議決いたしました。

さつそくその資料を出してもらい、このような重大な法案を審議するにあつて資料なしにやり、それからまた公務員法關係と、人事院の方と非常に関連性のある問題ですから、浅井人事院総裁がお出でにならなくて本多國務大臣だけでは問題にならない。所屬の國務大臣が出なければいけない。それによつていろいろな所掌範囲においてやらなければならぬ。というは提案理由を説明した際に、本多國務大臣が各所掌の問題について、各關係大臣から御説明をさせるからと説明しております。もしさうなことが考慮せられることなく、この本國会においてただいまの定員法が審議せられるならば、これは法律を犯して、あるいは違法を犯してやるようなきらいが多分にあります。

ますので、そういう御処置を委員長の方においてとられまして、そちらで行政管理廳の責任者である本多國務大臣、人事院総裁であります浅井氏が、出られまして、そういう点が明確になりました。これが出ていないとしても具体的な質問ができる。これは私が言ふのではなく、本多國務大臣自身が提案理由の説明のときに申しておられたので、約束を実行してもらわなければ困ります。

○齋藤委員長 大蔵大臣はただちに来られます。それから人事院総裁は今G HQに行つておられるらしいので、いずれ午後には来られるらしいです。

○土橋委員 ただいま同僚木村委員からお話をありましたように、この問題は憲法の規定及び國家公務員法に関連し、また人事院規則の十一号〇の規定にまだ出て来ない。しかも定員法は審議をしなければならない重大段階に入つてゐるのに、一番大きな問題であるところの国有鉄道從業員の、われくが要求いたしました資料が出ないのであります。定員法の審議をやる途上にあります。定員法の審議をやる途上に、おいてこれが出て来ない、過信省の方はきわめて簡単なものが出来ましたけれども、あのようなものではわれくが要求したよ

うな資料を出してもらう、まずこれを出してから定員法の審議に入らなかつたならばこれは審議できない。従つて

という点について、根本的に話を進めなければ、具体的に法案の細部にわたつて検討することはできないのであります。そしてたしますと、この大蔵省設置法の修正について議院の承諾があつたかどうかについての御意見を承りたい。

○河野(通)政府委員 お答えいたしま

す。大蔵省設置法の修正を先般お願ひしたのですが、それに伴いまし

て、政局の関係で國稅廳として本省が外局に分離いたされますに伴つて、

お話をどのように定員法を修正いたす必

要がござります。この点は現在のこと

ろでは、大蔵省設置法の施行等に伴う法令の整理に関する法律案といふもの

が、今本委員会に付託されているわ

けであります。この法律案を政府の手によりまして修正をお願いいた

す。——この点は実は昨日ようやく関

係方面からのアブルーヴアルを得たの

であります。本日の議院運営委員会

でこの点をお取上げいただき、本日の

本会議において院議に付せられる予定

かに聞いております。そういたします

と、その大蔵省設置法の施行等に伴う

法令の整理に関する法律案の修正案を

修正案の中へ行政機関職員定員法の改

正が出来るわけあります。その改正は

今案といたしましては法令の整理に關する法律案の第三十七條に、行政機関職員定員法の一部を次のよう

に改正する。その改正は

閣が、各議院の會議又は委員会において議題となつた議案を修正し又は撤回するには、その院の承諾を要する。二

つてあります。そういうふうな手続をとつているかどうか。それについての御意見を承りたい。

○成田委員 事情はわかりません。

日提案されるその法案に定員法の一部修正が出るようあります。そうしますと國会法五十九條の趣旨から言つて「その院の承諾を要する。」ので、定員法の審議は見合していただきたい。これは五十九條の趣旨から責任を持つてやれませんから、議決されるまで審議を見合せていただきます。

○齋藤委員長 それでは委員長として宣告いたします。この会は一時休憩して、午後一時から開きます。

午前十一時四十八分休憩

〔休憩後は開会に至らなかつた〕

〔参 照〕

賠償額臨時設置法の一部を改正する法律案(内閣提出)に関する報告書
〔都合により別冊附録に掲載〕

昭和二十四年七月十三日印刷

昭和二十四年七月十四日発行

衆議院事務局

印刷者 印刷局